

令和5年度 第6回高橋地域会議 会議録

日 時：令和5年9月19日（火曜日）午後7時から午後8時40分まで

場 所：高橋交流館 多目的ホール

出席者：太田市長

＜地域会議委員＞ 赤瀬 健二、天野 芳和、有田 宗則、今井 尚、今井 ひろみ、
木村 守、黒野 剛司、紺野 昭彦、柴田 淳二、竹下 鉄夫、
萩原 磯次、村山 雄司、安田 誠、山内 秀則、渡辺 和夫

＜企画政策部＞ 都築副部長

＜地域振興部＞ 中川室長

＜企画課＞ 宮川担当長

＜都市計画課＞ 花田課長

＜高橋支所＞ 前田支所長、出口副支所長、吉野担当長、川瀬主査、
永田主査、眞野主査

≪内容≫

1 会長あいさつ

2 答申書授受

竹下会長から豊田市長へ、森づくり基本計画の取組に関する諮問の答申書を手渡した。

【答申内容の抜粋】

(1) 都市部住民が森林に足を運ぶ事業の実施

都市部住民が森林に足を運ぶ機会を増やすために以下のような事業の実施を提案する。

- ・ 子ども向け森林授業の実施
- ・ 自転車コースの整備
- ・ 森林オーナー制度の導入

(2) 間伐材等木材製品への補助金制度の導入

3 諮問書授受

豊田市長から竹下会長へ第9次豊田市総合計画に関する諮問書を手渡した。

【諮問内容の抜粋】

第9次豊田市総合計画に掲げる本市のまちづくりの方向性である「(仮称)ミライ構想」のめざす姿やまちづくりの基本的な考え方、都市構造について貴地域会議に意見を求めます。

4 諮問内容の説明・質疑応答

諮問内容の詳細について、企画課の宮川担当長、都市計画課の花田課長が以下のとおり説明した。

- ・今年と来年の2年間で第9次豊田市総合計画を作っていく。
- ・総合計画の意義は、豊田市のまちづくりの羅針盤。変化の激しい社会の中で、常に見直していくことができる計画にしなければならない。
- ・重視している点は次のとおり
 - ① 「ひと」のつながりや活躍を支援し、新しい価値を創る計画
 - ② 様々な資源と先進技術を融合し、圏域をリードするまちを創る計画
 - ③ 戦略性と弾力性のある計画
- ・今回諮問している「(仮称)ミライ構想(以下、「構想」という。)」は、理念的なもので、普遍的なまちづくりの方向性である。構想のめざす姿として、8総の「つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた」を継承し、とくに「つながる」を大切にしていきたい。切れてしまった繋がりや、コロナを契機に生まれた繋がりを、次の世代にどう生かすのかを考えていく。また、しなやかに変化し続け、成長するまちをめざし、「変える」を意識したまちとしたい。
- ・構想における都市構造の基本的な考え方は、『コンパクト+ネットワーク』。
- ・地域ごとの特性により、将来に渡って安心して暮らし続けることができるよう、暮らしに必要な都市・生活機能を拠点間で連携していく。

5 市長あいさつ(要旨)

<答申について>

- ・森林整備は、2005年の市町村合併が影響している。合併には、豊田市の税金を矢作川上流部の森林整備に使い災害を防ぐ「利」の部分と山間部の人口減少に対応する「情」の両面がある。森林は山の人たちだけの話ではなく、運命共同体として都市部住民も一緒に考えようという目的で今回高橋地域会議に諮問を行った。
- ・子ども向け授業の実施は自分も大賛成。We LOVE とよたプログラムのなかでも取り入れたい。自転車コースの整備は、林道の多くが民有地なので結構厄介だが、足助の栃本町で地元と信頼関係を築きながら活動しているマウンテンバイクグループや週休3日でマウンテンバイクを楽しむ稲武のトヨタケ工業の例を参考にしたい。森林オーナー制度は制度設計が難しいと思うが、これから研究していく。間伐材への補助金制度は、間伐材=無駄などのイメージを払拭して付加価値をつけブランド化するためにウッドイーターのような活動を応援していく持続可能な政策としたい。

<諮問について>

- ・総合計画の下に個別の計画があり、それに基づいて行政は仕事をしている。

- ・第7次総合計画は、リーマンショックやトヨタ自動車のアメリカでの大規模リコール、タイの大洪水による減収で税収見込みが計画とかけ離れた。第8次総合計画は、新型コロナウイルスによって計画とかけ離れた。第7次と第8次を通して、先が見通せないなかでも柔軟に対応できる総合計画が必要と感じ、第9次総合計画は状況が変わっても市民と議論し柔軟に対応できる計画にしたいと考えている。

6 意見交換

今回の答申や諮問の内容などについて、市長と委員とで意見交換を行った。

7 市議あいさつ

会議を傍聴した古木吉昭議員、田代研議員、岩田淳議員があいさつした。

8 事務連絡

- ・令和5年度第7回高橋地域会議
日 時：令和5年10月17日（火曜日） 午後7時から
場 所：高橋交流館 多目的ホール